

チャレンジ工房News

第64号

平成28年7月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

イラスト Aya・keiko

暑中見舞いハガキ作成講座をしました。

6月の工房内レクとして、「暑中見舞いハガキ作成講座」をしました。
暑中見舞いハガキ作成講座は、去年のレク活動でもやっていることも



あって、いざ研修が始まると、ほとんどの所員さんが慣れた手つきで word のプログラムを開いて、「ハガキサイズ」の用紙に書式設定をして、「暑中見舞い申し上げます」と入力したあとで、各自思い思いのメッセージやイラストを入れながら作られていました。

「暑中見舞い申し上げます」という字体を和風チックな楷書体にし、文字の色も夏らしい「青色」にされていた所員さんも、Aya さんが描いた「スイカ」のイラスト

トやインターネットからダウンロードしてきた「かき氷」や「花火」などの夏らしいイラストを組み合わせてオリジナル感があふれるハガキを作られていた所員さんもいました。

所員さんの中には、今回の研修会でオリジナルデザインの葉書作りに興味を示して下さった所員さんもおられ、「あれから自宅に帰ったから筆ぐるめを使って、こんな暑中見舞いハガキを作ってみたの・・・」と話して下さい、私たちにも作成したハガキを見せてくれた所員さんもいました。

今回の研修会では横書きの暑中見舞いハガキを作って貰いましたが、「今度は縦書きデザインのハガキも作ってみたい」というお声もあったので、年賀状作成の季節が来たらまた工房内レク活動の一環で「年賀状作成講座」を開いて「縦書きデザイン」の年賀状の作成にも、是非チャレンジして貰いたく考えています。

工房の日々・・・～ Dさんの研修風景 ～

昨年夏ごろより、「私、80代になるけど、パソコンに挑戦してみようかなあ…」という思いを抱いて、週2回ほど家事などの合間をみて通われています。

Dさんは、私達も頭が上がらないほどの社交的で何ごとにも、向上心がおおせいな方で他の年配の所員さんのように、自宅に帰っても工房で勉強したことが復習できるようにと、自前のノートパソコンやテキストを毎回持って来られて熱心に取り組んでおられます。

1年かけて、wordの基礎のテキスト・ドリルを繰り返し1ページ、1ページ丁寧にされて確実なものにされて、「パソコンで家計簿を作りたいから、今度はExcelに挑戦してみようかなあ・・・」と今月より、Excelの基礎のテキストにチャレンジされます。

Dさんは、有り難いことに当工房の愛敬者の一人で、毎回私達スタッフ一人ひとりに気さくに声をかけて下さり、「一般のパソコン教室では、とてもついていくのが無理だけど、工房だったらワンツーマンで丁寧に教えてもらえるから、とても助かっているわ」「先生が毎月作っているチャレンジ工房news 毎回楽しみにしているねんよ」と常に気にかけて、声をかけて下さるので、時々工房の経営・運営のことなどで悩む私にとって、Dさんの言葉そのものが逆に励みになります。写真が趣味とのことなので、Excelのテキストをやり終えられたら、パソコンを使った「写真画像の編集」にも挑戦して貰いたいです。

7月・8月の予定

8/11(祝)～8/16(火)

夏期休暇

※上記の6日間、所員・スタッフの心身ともにリフレッシュを図るため、夏期休暇を頂きます。
※休み明けは、8/17(水)より開所します。



所員・家族の皆様へ

台風・猛暑対策についてのお知らせとお願い

7月になって真夏日のような気温が続き、毎日のように汗ばむ日々が続いています。

この時期から秋頃にかけては、雷雨・台風、そして熱中症など何かと天候が気になる時期でもあります。

当工房の所員さん・関係者の方におかれましては通所・来所の際、天候によって十分な雨対策や熱中症対策をして頂きますようお願いいたします。

また当工房は、障害者福祉施設(地域活動支援センター)であり、市の運営規定により、台風やゲリラ豪雨等によって、警報が発令された場合、臨時休所をすることになっています。

当工房では、**阪神地区及び尼崎市に大雨・洪水・波浪・暴風のいずれかの警報が発令された場合**、開所当時より下記のような措置を取っています。

研修中に警報が発令された場合

- ・天候が急変して、帰宅するときに何らかの危険があればいけないので、警報が発令された時点で研修を取り止め、帰宅準備ができしだい順次、帰宅して貰います。
- ・その後、工房自体もカギを閉めて閉所します。来所される場合は、警報がでていないかお確かめください。

朝7時の時点で警報が発令された場合

- ・朝7時の時点で警報が発令された場合、その日は1日臨時休所になります。
- ・臨時休所になった場合、朝9時まで所員さんにはスタッフから電話か携帯メールで連絡させて貰います。
- ・スタッフも通勤上の安全面を考慮して、その日は1日自宅待機をさせていただきます。

地震対策につきまして・・・

近い将来、発生するであろうと予測されている南海トラフ巨大地震への当工房の取り組みとして、政府が障害者防災対策プロジェクトとして、各障害者施設や作業所に助成金を出して実施している「防災対策導入支援サービス」を活用し、障害者の防災に詳しい専門コンサルタントの方に、現時点での工房の建物の現実や防災対策の実情などをチェックしてもらった上で、当工房の所員・スタッフの障害の特性に応じた「防災マニュアル」を専門家の方から様々なアドバイスを受けながら作成することに取り組んでいます。

防災対策については、順次当誌や当工房のホームページにて掲載していく予定です。

研修中に地震が発生した場合

- ・研修中に地震が発生した場合、一旦工房駐車場に避難して、点呼や安否確認を行ったあと市の「津波一時避難所」としても指定されている「センタープールの3階以上」に避難することを考えています。
- ※2013年3月に工房内避難訓練として、センタープールの3階以上に避難する訓練を行いました。所員さんの顔ぶれが変わったため、今年度中にぜひ再度「センタープールの3階以上に避難する訓練」を行いたいと考えています。



自宅に在宅時に、または外出時に地震が発生した場合

- ・最寄りの「津波一時避難所」として、市の指定を受けているビルの3階以上に避難するか、津波被害が少ないと想定されているJR神戸線よりも北側に避難するようにして下さい。
- ・所員の皆様におかれましては、今一度市のホームページなどで最寄りの津波一時避難所・指定避難所を各自、確認して頂きますようお願いいたします。

市の避難所一覧

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/bosai_syobo/hinann